

2022年12月22日

関係各位

社会福祉法人 中心会
理事長 浦野 正男
えびな北高齢者施設
所長 荻窪 かほり

えびな北高齢者施設の
職員・ご利用者の新型コロナウイルス感染について
(28の②)

20日(火)付の既報(28)の続報をお知らせします。これまでの経緯は既報(28)をご参照ください。

職員5名のPCR検査では、全5名の陰性が確認されました。

昨21日(水)に抗原定性検査を行なったご利用者2名は、いずれも陰性が確認されました。これで、抗原定性検査の対象となった17名のご利用者すべての陰性が、いったん確認されました。

この17名のうち、PCR検査を受けていただいたご利用者1名については、抗原定性検査に続いてPCR検査でも陰性が確認されました。

すでに退所された短期入所ご利用者1名についても、体調に特段の異変は確認されていません。

しかしながら、いったんは陰性が確認されたご利用者17名のうちの1名(以下、「ご利用者B」といいます。)に本22日(木)、発熱が見られたために再度の抗原定性検査を行なったところ、陽性が確認されました。既報(28)でお知らせした職員Aからの伝播と推定されます。

また、これに続いて、ご利用者Bとは生活区域(ユニット)を異にするご利用者2名にも発熱があり、この2名を含む19名のご利用者に抗原定性検査を行なったところ、5名の陽性が確認されました。

さらに、職員1名が本22日(木)に勤務中に発熱し、抗原定性検査で陽性が確認されました。

本22日(木)18時現在で確認された陽性者は、ご利用者6名、職員2名です。

えびな北高齢者施設では、このような事態を受けて、感染が広範囲に及んでいる可能性が高いと考え、本22日(木)から、あらためて入所部門のすべてのご利用者、入所部門に関係するすべての職員に抗原定性検査を進めています。職員については抗原定性検査が陰性であっても、さらに続けてPCR検査を行なう予定です。これら

の検査結果については、あらためてご報告します。

また、感染伝播を抑止するために当分の間、施設内のご利用者の生活区域（ユニット）相互間の職員、ご利用者の往来を遮断しています。

皆様にはご心配をおかけして誠に申し訳なく存じますが、感染拡大の防止には全力を尽くしておりますので、引き続き、ご理解、ご協力くださいますようお願い申し上げます。